

## 平成23年度活動報告

### 1. 未来ビークルシティリサーチセンター第15回シンポジウム開催報告

未来ビークルシティリサーチセンター

低炭素社会と安全・安心コア

電気・電子情報工学系 教授 櫻井 庸司

低炭素社会実現に向けて、自動車の電動化とその普及を促進する電池のリサイクル・リユースが注目を集めています。このような背景の下、平成23年12月6日に本学において、「電気自動車の普及を促進する電池の有効利用」と題して、未来ビークルシティリサーチセンター第15回シンポジウムを開催致しました（別添プログラム参照）。

本シンポジウムでは、電気自動車の普及活動状況ならびにガソリン車のEV化を安全性・信頼性を担保して行うために最近策定されたガイドライン、および、事業化が始まったHV用ニッケル水素電池のリサイクル、これからのビジネスとしてのEV用リチウムイオン電池の二次利用形態に関して、この分野の第一線でご活躍中の外部講師3名をお招きし、ご講演頂きました。

まず始めに、電気自動車普及協議会の活動とEVコンバージョンガイドラインについて、電気自動車普及協議会・草加氏からお話を伺いました。続いて、トヨタ自動車が進める資源循環と車載用ニッケル水素電池のリサイクルについて、トヨタ自動車・石本氏にご講演頂くとともに、NTTファシリティーズ・石井氏に、車載用リチウムイオン電池の二次利用に関する実証研究の現状についてご紹介頂きました。

当日は、学外から92名、学内から69名、計161名の参加者があり、質疑応答においても活発な議論がなされ、盛会のうちに講演会を終了致しました。

末尾ながら、本シンポジウム開催に当たりご協力頂きました関係各位に厚くお礼申し上げます。



草加 浩平 氏  
(電気自動車普及協議会)



石本 義明 氏  
(トヨタ自動車 (株))



石井 康之 氏  
(株) NTTファシリティーズ)

別添

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター 第15回シンポジウム  
三遠南信クラスター推進会議・次世代用輸送機器産業クラスタープロジェクト  
「電気自動車の普及を促進する電池の有効利用」

【概要】

低炭素社会実現に向けて、自動車の電動化とその普及を促進する電池のリサイクル・リユースが注目を集めています。

本シンポジウムでは、電気自動車の普及活動状況ならびにガソリン車のEV化を安全性・信頼性を担保して行うために最近策定されたガイドライン、および、事業化が始まったHV用ニッケル水素電池のリサイクル、これからのビジネスとしてのEV用リチウムイオン電池の二次利用形態に関して、この分野の第一線でご活躍中の方々にご講演頂きます。

- 日時：平成23年12月6日（火）13:30～16:20
- 場所：豊橋技術科学大学 A講義棟 A-101
- 主催：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター、三遠南信クラスター推進会議
- 後援：東三河産業創出協議会、豊橋商工会議所、豊橋市、田原市、田原市商工会
- 協賛：電気化学会電池技術委員会、電気化学会東海支部、電気学会東海支部、IEEE 名古屋支部、自動車技術会

時間	プログラム	講演者
13:30 ～13:35	開会挨拶	豊橋技術科学大学 副学長 未来ビークルシティリサーチセンター長 角田 範義
13:35 ～14:25	【講演1】 「電気自動車普及協議会の活動とEVコンバージョンガイドラインの紹介」	電気自動車普及協議会 幹事 東京大学大学院工学系研究科特任教授 草加 浩平 氏
14:25 ～14:35	休憩	
14:35 ～15:25	【講演2】 「トヨタが推進する資源循環と車載用ニッケル水素電池のリサイクル」	トヨタ自動車(株) 環境部 リサイクル企画室 室長 石本 義明 氏
15:25 ～16:15	【講演3】 「車載用リチウムイオン電池の二次利用に関する実証研究」	(株)NTT ファシリティーズ 事業開発部 事業企画部門 担当課長 石井 康之 氏
16:15 ～16:20	閉会挨拶	豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 櫻井 庸司

- 世話人・問合せ先：豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 櫻井庸司  
E-mail: sakurai@ee.tut.ac.jp , Tel./FAX: 0532-44-6722